



2024 Asian Rowing Indoor Championships in Penang, Malaysia & 2024 Penang Rowing International Indoor Championships, Malaysia 参加報告

東京都ローイング協会
吉野 泰宏
(WR Umpire No.1841)

1. はじめに

2024年8月10日, 11日に、マレーシア・ペナンで開催された2024 Asian Rowing Indoor Championships in Penang, Malaysia (以下、ARICH) & 2024 Penang Rowing International Indoor Championships, Malaysia (以下、PRICH) にITOとして参加させていただきましたので、ご報告いたします。

2. 大会概要

(1) 日程

当初予定：2024年8月17日(土), 18日(日)

実施日程：2024年8月10日(土), 11日(日)

当初開催日程は、Bulletin1では8月9日から11日の3日間の予定であったが、設定種目に対し、参加選手が少なかった(パラ選手の参加がほぼなかった)ため、8月10日からの2日間に短縮された。

また現地のPenang Rowing Association (以下、PRA) が主催するPRICHが併催されることはBulletinには記載がなく、後日WhatsAppで通知されていた。

(当方は見落としていて、現地で併催を知る事となった。)

イベントスケジュールとレーススケジュールについては後述するが、当初予定として通知されていた内容は下記のとおり。(後に大幅に変更された。)

8月9日(金)	8月10日(土)	8月11日(日)
0900 venue setup	0800 Registration counter open	0800 Registration and weigh-in counter open
1400-1900	0900 2000m Single(ARICH,PRICH)	
Venue open for team training	1000m Single(PRICH)	0830 2000mPair(ARICH,PRICH)
2000	1200-1400 Lunch time	0930 4×500m Relay(ARICH,PRICH)
Team manager meeting(ARICH)	1400 500m Single(ARICH,PRICH)	1100 Prize Giving Ceremony3
2100	1500 Opening Ceremony & Prize Giving Ceremony1	Event Close
Jury Meeting(ARICH)	1600 4×500m Relay(ARICH,PRICH)	1200 Venue dismantle
	1730 Prize Giving Ceremony2	
	1830 Nations Dinner(ARICH only)	

Days1:38 レースのうち ARICH:14 レース, PRICH:24 レース。ARICH はすべてシングル種目。
 Days2:10 レースのうち ARICH:4 レース, PRICH:6 レース。ARICH, PRICH ともペア、リレー種目。

(2) 選手参加国

ARICH : THA, KOR, HKG, IND, PAK, KSA, KUW, SRI, IRI, IRQ, MAS 11 か国 347 名エントリー
 PRICH : SGP, THA, AUS, SWE, HKG, IND, MAS など。複数エントリー者が多数おり、延べ 793 名。
 合計エントリー数 1140 名 (実数としては 700 名程度か。)

(3) 会場

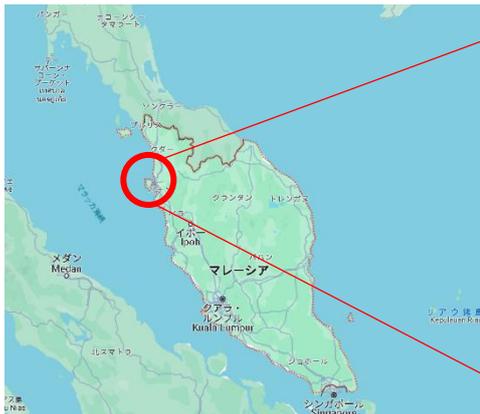


図1 マレー半島とペナン島の位置



図2 ペナン島と会場の位置



写真1 会場全景 (Straits Quay)

会場は、マレーシア北西部でマラッカ海峡に浮かぶリゾート地・ペナン島北部 (図1,2) の「Straits Quay」(ストレイツ・キー) というショッピングモール・コンドミニウム・マリーナがある複合施設 (写真1) の屋根付き屋外広場で、選手・関係者の宿舎 (公式ホテル) である Jazz Hotel Penang から徒歩5分程度の場所であった。

(4) 参加審判員 (6名)

President of Jury	WONGSRIRATANAKUL Jirawat	THA	1819
Juries	KWOK KEUNG (John) Cheung	HKG	1626
	YOSHINO Yasuhiro	JPN	1841
	POCHANASOMBURANA Anjela	THA	1818
	BIN BADOR Muhd Nadzri	MAS	1695
	BIN MD NASIR Harith	MAS	1698

3. 会場設備・使用機器・システム

(1) 会場設備・レースメニュー

会場については、商業施設の屋根付き広場で、周囲に店舗がある状況。個人的な印象として風・雨・

太陽光の影響を受けるため、会場として適切か否かは迷うところであった。(写真2)



写真2 レースベニューの場所

そこを簡易フェンスで仕切り、エルゴメーターを20台配置し、レースベニューとした。

その脇にウォーミングアップエリアとして、エルゴメーターを2台、エルゴバイクを1台配置した。

選手計量所はレースベニューの入口に設置されたが、パーテーション等がなかった。計量器も普通の体重計1台のみであった。

ベニュー正面に、舞台とLEDパネル(レース状況とスポンサー画像を映し出す)を仮設し(写真3)、その裏にOCのシステム

卓(中央)・YouTubeのストリーミング放送を行うスタッフのモニター卓(右)等が配置されていた。(写真4)

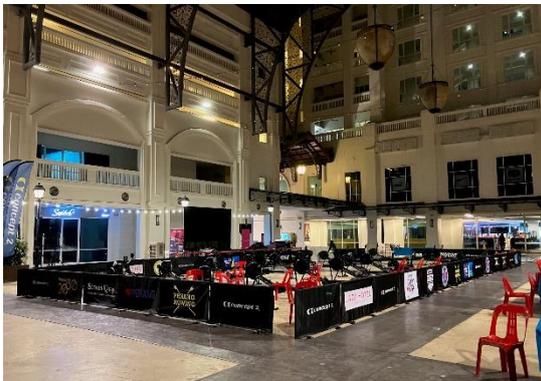


写真3 レースベニュー

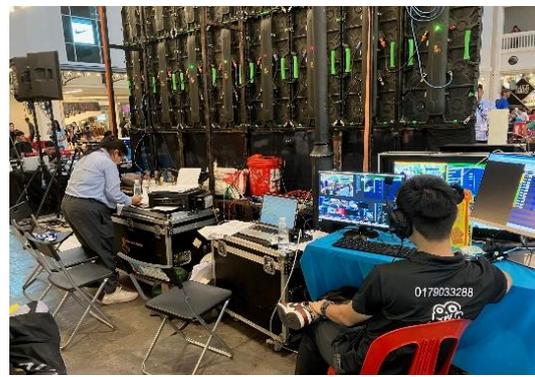


写真4 OC卓とYouTube中継卓

(2) 使用機器

使用するエルゴメーターは、Concept2社の標準高さタイプ(Model D・Standard Leg)で、表示部(パフォーマンスモニター)が「PM5」(LANケーブルが接続可能・システム対応可能なもの)であった。(写真5)



写真5 パフォーマンスモニター

(3) 使用システム

システムは、Concept2社のErgRaceが使用されていた。

<特徴>

- ・20台以上のエルゴメーターを接続可能。(ただしPM5使用に限る。)
 - ・In-person イベント専用。(バーチャルインドア用は別のソフトがある)
 - ・違うカテゴリーを同一レース内に設定可能。カテゴリー別に順位が表示できる。(写真6)
- 左端の色が同じ選手が同カテゴリーを示す。この例だと4つのカテゴリーが同時にレースをしている。
- ・ウィンドウズPCにダウンロードして使用。
 - ・個人レース、チームレースが可能。
- ※吉野注: ペアとして、2台のエルゴの合計タイム



写真6 ErgRaceの画面

を平均し順位を表示できる。

- ・選手登録、変更が容易。（※結果として、これが混乱の元になった点は後述する。）
- ・通常の距離レース、時間レース（何分間でどれだけ漕げるか）、カロリーレース（消費カロリーを競う）が可能。
- ・ディスプレイが3種類（①ボートが画面上を動いている画像、②順位の表示、③その混合表示）
- ・レース結果をPDFで打ち出し可能。

4. 審判業務

(1) 会場の下見と設営状況確認

WRの「APPENDICES TO THE RULES OF RACING」の「EVENT REGULATION」にも「COMPETITION AREA」が記載されているため、会場や設営状況を見ておきたいと思っていた。

到着翌日（8月9日）の朝食会場で、PoJのJirawat氏に会った際に「Venueの設営状況を見たい」と伝えると、「Technical DelegatesであるM.V Shiram氏（IND）が10時から11時の間に設営のチェックに行く」と教えてくれたため、10時過ぎに現地に行ってみた。（写真7）

当方は「インドアなので、室内だろう」と思い込んでいたが、それらしい場所はなく、広場のベンチに腰掛け、状況を眺めていると、Penang Rowing AssociationのPresidentであるSim Ghee Beng氏（写真8・左）に声をかけられたので、「どこにVenueを作るのか」と訪ねたところ、「ここに今から作るが、エルゴの到着が遅れている。」との話であった。

その後、しばらく現地にいたものの会場設営の進捗が見られなかったため、いったん宿舎に戻った。



写真7 ベニュー予定地



写真8 PRAのPresident Sim氏と

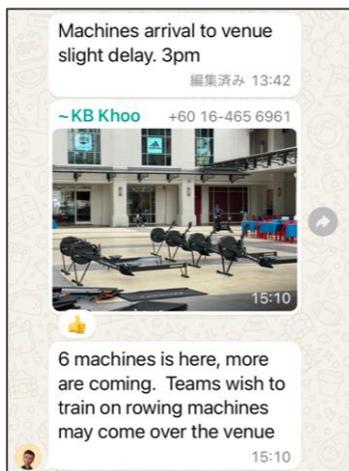


写真9 選手・関係者向け
WhatsAppの画面

15時過ぎに、徐々に各国チームが会場にやってきて、練習を始めた。（練習開始時間が遅れていることは特に問題にしている様子であった。）

公式案内では、「14時から19時まで会場のエルゴで練習できる」と周知されていたものの、進捗がみられず気にしていたところ、運営責任者のPRA事務局長Khoo氏より、選手・関係者向けのWhatsAppグループチャットに「エルゴの到着が少し遅れており15時の予定」（写真9）との連絡が入ったため、再度会場に向かった。

当初エルゴは20台と聞いていたが、この時点でエルゴ6台+エルゴバイク1台のみであり、「練習したいチームはVenueに来てください。」との連絡があったものの（写真9）、日本人の感覚からは「ちょっと問題になるのではないか。」と感じた。



写真10 会場の状況（日差しが当たる）

会場の状況（写真 10）を改めて見ると、

- ・地面が完全に水平ではない。
- ・屋根がガラス張りで、日差しが当たり、暑く感じるがあった。
- ・実質的に屋外であり、風の影響を受ける。

など、公平性という観点からは課題があるのではないかと感じた。



写真 11 KSA のパラ選手と専用シート

その後、約 1 時間程度、練習の様子を見ていたが、来たチームは SRI, KSA, IND, KOR で、パラ選手も含まれていた。

KSA のパラ選手は専用のシートを持参しており、専用シートを取り付け、練習を行っていた。（写真 11、円内）

また、各チームともリレーの選手交代のシミュレーションを繰り返していた。（写真 12）

結果的に 16 時過ぎの段階でもエルゴが到着せず、会場設営状況や機器の動作状況をこの時点で確認することはできなかった。（写真 13）



写真 12 練習する SRI のジュニアチーム



写真 13 設営状況(大会前日 16 時過ぎ)

(2) Team Manager Meeting

8 月 9 日 20 時 48 分より、ホテル 9 階の夕食会場で Team Manager Meeting が行われ、ARICH の参加チームの監督・コーチ、一部選手が参加した。（写真 14）

PoJ の Jirawat 氏より、パワーポイントを使って、ルールのポイントの説明があった。

<以下、説明内容の要旨>

- ・WR のルールに則り、エントリー数 1 にはメダルなし。エントリー数 2 には金のみ、エントリー数 3 の時は金・銀のみ。エントリー数 4 以上になって、金・銀・銅になる。
- ・ベニューに入ることができるのは、選手と審判員、その他の認められたオフィシャルのみ。
- ・パラ種目のみ、コーチ 1 名が付き添うことができる。それは選手の体調面の安全確保のため、アドバイス（声掛け）は不可。
- ・リレー種目にて、WR のインドアローイングのルールが今年一部改訂されており、リレー種目はチェンジオーバーポイント（陸上競技でのバトンゾー



写真 14 Team Manager Meeting の模様

ンと同じ意味) の設定があり、「①ポイントに届く前に交代してしまった場合」と、「②ポイントを超えてしまって、2ストローク以上漕いだ場合」はそれぞれイエローカードの対象となる旨が説明された。

例えば4人のうち、1人が早めに交代、1人がポイントを過ぎて2本以上漕いでしまったら、イエローカードの累積でレッドカード・除外となるので注意することと説明があったが、知らないクルーが多い印象であった。

・具体的なチェンジオーバーポイントは画面で示された。

1500mは1550m～1450m, 1000mは1050m～950m, 500mは550m～450m

加えて、「交代時に選手に触れてはいけない。」「背中やシートを押して助力をすることは禁止」の旨が説明された。

<質疑応答>

Q1：リレーレース時にベニューに補助者は入れるのか？

A1：クルー4人のみ。他の者は不可。ベニューに入れるのは選手のみ。パラ種目はコーチ1名が安全のため同席が可能だが、応援は不可。リレー種目は選手4人のみ。

【※吉野注：Q4の会場設営の理由で、後に一部変更される。】

Q2：ダブルエントリーの調整をしてほしい。レーススケジュール上、出られない種目がある。

A2：配慮する。運営責任者の Khoo 氏に申し出てほしい。【※吉野注：のちに混乱の原因となる。】

Q3：軽量級選手の計量の場所はどこか？

A3：ベニューの脇に設置する。時間は出漕時間の2時間前から1時間前に行う。

Q4：エルゴメーターが床に固定されておらず、動いてしまう。(写真15)

A4：(PoJよりTDに回答が振られる)

TD (Shiram氏)よりKhoo氏に質問。

- ・ラバーマットはあるか？→ない
- ・砂袋はないか？→ない
- ・今のルールを知っているか？
→以前のフォーマットで問題ないと思っていたので準備できていない。

<TDであるShiram氏よりチームへの回答>

エルゴが水平であることと、動かないように準備したい。(左から2人目がTDのShiram氏, 3人目がKhoo氏)



写真15 質疑応答の様相

Q5：システムや通信状況のエラーで記録が計測できなかった場合、救済してもらえるのか。

A5：そのような状況の場合は、後ろに回して再レース。Protest (不服申し立て) はチームマネージャーのみ可能。レース結果の発表後30分以内とすること。

Q6：Q2のダブルエントリーに関しての、組み合わせ修正後の新たなスケジュールはいつ出るのか。軽量級選手の計量に影響するが。

A6：WhatsAppに掲出する。

Q7：ベニューオープンの時間は何時か。練習したい。

A7：練習場所はベニューと別にあって、いつでも使える。

(3) ITOs Meeting

チームマネージャーミーティング終了後、そのまま ITO ミーティングとなった。

ミーティングでは自己紹介と、PoJ から、さきほどの代表者会議での注意点の再確認があった。特にリレーのチェンジオーバーポイントの点については、一部の審判も知らない模様であった。

(当方は、事前に WR ルールのアプリで読んでいたので、内容は知っていた。)

PoJ より、各審判員の役割分担の割り振りがあり、過去の大会の経験等を踏まえて、John 氏が CC と Responsible of Jury を兼務。Harith 氏も同じ役割だが、現地の参加者が多いことをふまえ、主に地元選手の対応をすることとし、私と Nadzri 氏が Race Officials を担当することになった。

President of the Jury	Jirawat	THA	
CC (Athlete Weighing) 兼 Responsible of Jury	Cheung (John)	HKG	
CC (Athlete Weighing) 兼 Responsible of Jury	Harith	MAS	主に地元選手対応
Race Officials 1	YOSHINO	JPN	
Race Officials 2	Nadzri	MAS	

初日の NTO が確保できなかったとのことで、Anjela 氏は、急遽 NTO に変更して OC の活動にあたることになり、実質 5 人で対応するしかなく、お互いの部署を補完しあうことを確認した。

明日の軽量級種目の選手計量が、「ARICH が 0615 から。PRICH が 0630 からだが、Venue に行ったほうがいいか？」と尋ねたところ、PoJ より「可能か？」と言われたので、「やります。」と立候補した。

ミーティング終了後、明日の選手計量が 6 時 15 分開始のため朝食が摂れない（ホテル朝食は 6 時 30 分開始）ので、ホテル脇のコンビニエンスストアに買い物に行ったところ、PoJ と TD に会い、PoJ より「今、ベニューを見てきた。エルゴ 20 台は揃っていたけど、準備は出来ていない。明日の朝やるようだ。」と言われたので、私も気になって見に行った。(写真 16, 17)

なんとか設営は終わっていたが、選手計量所や ID チェックカウンターなどは設営されておらず、「これは間に合わないのではないか…」と思い、早起きして現地で待機することとした。



写真 16 レースベニュー(大会前日 22 時 50 分時点)

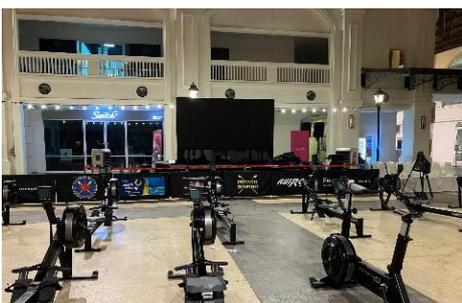


写真 17 ベニューの状況(未完成)

写真は大会前日 22 時 50 分の段階でのベニュー。
まだ各エルゴの LAN ケーブルは結線されていない。

選手計量所と ID チェックカウンター、その他の設備は未完成。
ラバーマット等は設置なし。

(4) 審判業務・大会1日目(8月10日)

大会1日目のレーススケジュール(抜粋)は以下のとおり。予定については前日の夜に、選手・関係者用のWhatsAppに掲載された。

1日目は、ARICHは全てシングル種目。各レースとも異なるカテゴリーを同時に実施する。

Time	Heat	青が ARICH, 黄が PRICH 種目の前の数字はイベントナンバー (エントリーするカテゴリー別)
0800	1	Asian Indoor(ARICH) 20 PARA PR1 Women 2000m 22 PARA PR2 Women 2000m
0815	2	Asian Indoor(ARICH) 37 Masters Women 50-59 2000m single 38 Masters Women 50-59 Lightweight 2000m single 41 Masters Women 60+ 2000m single 42 Masters Women 60+ Lightweight 2000m single 35 Masters Men 50-59 2000m single 36 Masters Men 50-59 Lightweight 2000m single 41 Masters Men 60+ 2000m single 42 Masters Men 60+ Lightweight 2000m single
0830	3	Penang Indoor(PRICH) (A20) 40-49 2000m Women (A22) 40-49 2000m Women (A28) 60+ 2000m Women (A30) 60+ Lightweight 2000m Women (A24) 50-59 2000m Women (A19) 40-49 2000m Men (A21) 40-49 Lightweight 2000m Men (A23) 50-59 2000m Men (A25) 50-59 Lightweight 2000m Men (A29) 60+ Lightweight 2000m Men
0845	4	Asian Indoor(ARICH) 29 Masters Women 30-39 2000m single 30 Masters Women 30-39 Lightweight 2000m single 33 Masters Women 40-49 2000m single 34 Masters Women 40-49 Lightweight 2000m single 27 Masters Men 30-39 2000m single 28 Masters Men 30-39 Lightweight 2000m single 41 Masters Men 40-49 2000m single 42 Masters Men 40-49 Lightweight 2000m single

このように、異なるイベントを同時にレースができるのは ErgRace の特色で、設置したエルゴを有効に使うことができるが、エントリーリストとレーススケジュールがなかったのは致命的で、また OC の NTO もおらず、ID チェック (パスポート・ID カード) が極めて煩雑となった。

5時40分にベニューに到着。(Concept2のバルーンゲートが増えていた。)(写真18)

暗闇の中、関係者は誰も来ておらず、全般的に準備が出来ていない状況。



写真18 大会当日の朝のベニュー設営状況

6時15分から選手計量を開始しなければならず、最低限、計量器だけでもセットしたいと思い、会場内を探し回ったが発見できず。

他の審判も来ないので、これはまずいと思っていたところ、6時30分にPRICHに出漕する男性選手1名がやってきて、「計量は2時間前から1時間前までと聞いていたので来た。」と言われたが、「大変申し訳ないが、準備が全くできていない。少し待っていてくれな

いか。」と詫びて、了承を得た。その後、Harith氏が来てくれ、「既に選手が来ている」旨をWhatsAppでPRA関係者に連絡してくれたところ、計量器(体重計)が届いた。

ただ、選手計量所のパーテーションが用意されていなかったため、コーヒーショップの植木鉢と、スポンサーであるオフィシャルホテル(Jazz Hotel)の広告用バナーで計量器を取り囲み、そこを計量所として計量を開始した。(写真19)

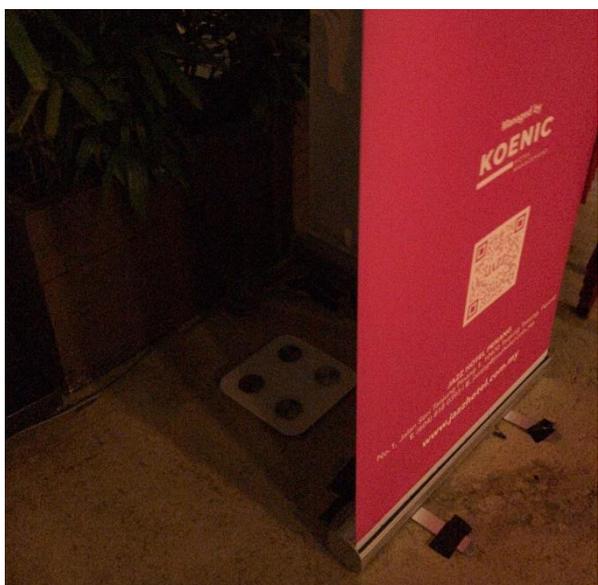


写真19 選手計量所の状況

また、レーススケジュール(選手リスト)が届かず、CC担当のJohn氏が、IDを確認。氏名をメモ用紙に転記し、私がひたすらイベントナンバーと国名、体重、計量時間を控えておくという方法で選手計量を行った。

インドアローイングの軽量級選手は男子75.0kg以下、女子61.5kg以下と、通常のローイングとは値が全く異なるので、間違えないように注意した。(写真20)

結局、最初に来た選手を30分待たせてしまったが、選手からのクレームはなかった。

(あとで、ある審判から、「あの選手がいい人で良かったが、本来だったら大クレームになる問題だと思う。吉野が現地に来てくれたから助かった。」と言われた。)

ARICHの選手と、PRICHの選手が入り乱れて計量に来るため、IDの転記と確認に追われ続けた。

その後、OC担当の現地の方が来てくれたが、やはりレーススケジュールがなく、その方のPC内にあった参

A21 MAS 74.8 7:00	A21 MAS 70.3 8:02
30 60.4 9:06	08 THA 73.9 8:04
28 IRA 73.8 7:16	20 THA 64.2 8:06
22 IRA 74.5 7:16	20 THA 65.8 8:06
2041 MAS 73.8 7:21	36 THA 74.2 8:07
30 KSA 56.7 7:24	58 THA 52.3 8:08
38 MAS 57.6 7:24	38 MAS 60.0 8:13
32 HICG 73.8 7:28	40 THA
34 MAS 54.5 7:38	42 THA 47.4 8:13
28 MAS 69.8 7:39	08 KSA 73.7 8:16
A21 MAS 68.5 7:45	A13 MAS 74.6 8:18
30 MAS 61.0 7:42	10 SRI 59.5 8:20
34 MAS 59.5 7:44	A13 MAS 72.6 8:21
41 THA	A13 MAS 70.8 8:22
40 AUS 72.7 7:48	A10 MAS 52.7 8:24
36 71.7 9:50	A09 MAS 74.3 8:24
A29 SRI 71.5 7:53	16 THA 60.4 8:25
KWI 92.4 9:54	10 THA 59.4 8:26
36 THA 68.3 7:57	16 THA 58.9 8:27
A08 MAS 71.4 7:58	16 MAS 60.3 8:28
A08 KSA 74.2 7:59	16 MAS 59.8 8:28
THA 60.4 8:00	42 THA 51.7 8:30
	10 IND 55.8 8:31

写真20 選手計量メモ

加申し込みリストのデータから、イベントナンバーと氏名を割り出し、その場でエクセルに選手計量原簿をつくり、そこに John 氏の ID メモと、私の計量メモとを付き合わせをして、計量時間と計量結果を入力した。この成り行きから、吉野が CC (選手計量) と Race Official を兼務することになった。

本来 8 時からレース開始であったが、レース運営関係者が現地に揃ったのは 7 時 30 分過ぎで、そこから最終セッティングが始まった。

当初、システムの動作もうまくいかず、第 1 レースの ARICH・パラ 2000mが始まったのは、1 時間以上遅れた 9 時過ぎとなった。

OC が機能していない状況となっていたため、選手計量の審判 (我々 2 人) に選手やコーチからの問い合わせが頻発した。John 氏からは、「計量のこと以外は、“知らない。OC に聞け。” と言え」とアドバイスを受けた。

レースの運営方法にも差があり、ARICH については「Venue に入ることが出来るのは選手と審判、その他オフィシャルのみ」と説明されていたが、PRICH はチーム関係者 1 名の同席が認められていた。(写真 21)



写真 21 PRICH はチーム関係者同席可

レースにおいては ARICH と PRICH が同時に行われるものもあり、混乱を増した。ARICH でもコーチが Venue に入り、出ていけないことがあり、その都度コーチの退席を求めた。

前日の Team Manager Meeting で指摘のあった「ラバーマットが敷かれていないためエルゴの固定が不十分で動いてしまう」ことから、大会途中で「エルゴが動かないように、コーチがエルゴの前側 (ファン側) を押さえることを認める。ただし、応援やコールは禁止」という条件で、コーチの Venue の立ち入りが認められる形 (写真 22) に変更されていたため、数回誤った指示をしてしまった。



写真 22 エルゴが動かないようにコーチが押さえている様子

情報の錯綜などもあり、結果として、全体のレーススケジュールが約 3 時間遅れ、初日のメダル授与式は取りやめ (翌朝に延期) となり、ネーションズディナーも 1 時間 15 分遅れでの開始となった。(この時点で、初日の ITO としての業務は終了した。)

翌日の選手計量も 6 時開始であったが、今日の流れもあるので、「翌日も私が早く行く」と申し出た。

レースの遅延が増大した理由として、

- ARICH で複数種目のエントリーを考慮して、レーススケジュールを組みなおしたこと。(システムも組みなおしが容易なことが裏目。)それが OC や Jury メンバーに反映されなかったこと。(ID チェック中に、組み合わせが変わっていることも頻発した。)
- 選手が時間通りに会場に来ない。遅れているなら回復しよう、という感じではない。

- ・PRICHに参加する選手の大半がWRのルールを知らず、軽量級の選手が計量時間を大幅に超過しても来場しなかった。
- ・午後ぐらいからレーススケジュールが印刷されて配られるようになったが、誤りが多く、そのチェックに手間取ったこと。



写真 23 PRICHの表彰式の模様

そのため、OCに対し、翌日のレーススケジュールの用意(印刷した紙を含む)をPoJが強く依頼した。

ARICHのイベントが終わった後も、PRICHのレースは続き、最終的に終了したのは21時を過ぎていた。その後、本日分のPRICHの表彰式が行われ、大会初日の行事がすべて終了したのは23時過ぎであった。(写真 23)

地元の選手の表彰をひたすら続けていたPRAのSim氏、Khoo氏については、頭が下がる思いであった。

(5) 審判業務・大会2日目(8月11日)



写真 24 大会2日目・朝の状況

2日目の担当は前日と同じ。

(私はCC兼Race Officials)

前日夜、WhatsAppでOCに対し、Jirawat氏、Angela氏、Harith氏から「レーススケジュールとスタートリストを用意してくれ」と依頼し、OCからは「用意する」との返答であった。(ただ、実際には朝イチには間に合わず)

6時より選手計量開始のため、5時40分に会場到着するものの、またも関係者は誰もいない状況。(写真 24)

第1レースはPRICHの2000mレース(計量時間6時~7時)であるが、選手が全く来ない。

そのため、軽量級のイベントナンバー、計量時間を手書きで書き、WhatsAppに載せた。(写真 25)

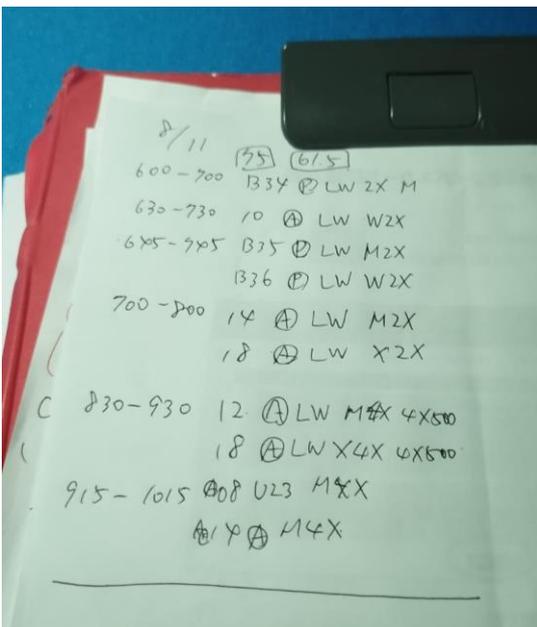


写真 25 軽量級イベントのメモ



写真 26 暗闇でのリスト作成

6:30過ぎにOCの担当者が到着したので、レーススケジュールとスタートリストを打ち出してもらおうこととしたが、「計量原簿はあるか」と問うと、「ない」とのことだったので、真っ

暗な中、その場で、「とにかく軽量級イベントの選手リストだけでも作成して。」とお願いし、作成を手伝った。(写真 26)

スタートリスト HEAT No.7 (PRICH・2000mリレー) の例。(写真 31)

(17) R2

LANE	DAY 2 HEAT 5 START LIST	Participant Indoor (PRICH)
1	01191 Open 4000m Men 01192 Open 4000m Men 01193 Open 4000m Men	PHONG CONG SPORTS CLUB JUN KAI CHAI DANG LAM KAI YONG FONG SPORTS CLUB
2	01194 Open 4000m Men 01195 Open 4000m Men 01196 Open 4000m Men	LIH YONG CHAI NG JIN HUI CHAI YUE KENG YONG FONG SPORTS CLUB
3	01197 Open 4000m Men 01198 Open 4000m Men 01199 Open 4000m Men	PHARMED SRI USON SRI PHARMED SRI USON SRI PHARMED SRI USON SRI PHARMED SRI USON SRI
4	01200 Open 4000m Men 01201 Open 4000m Men 01202 Open 4000m Men	LEE CHAI YEE TUNG WAI TAN LIU CHUN YEE YONG FONG SPORTS CLUB
5	01203 Open 4000m Men 01204 Open 4000m Men 01205 Open 4000m Men	PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG
6	01206 Open 4000m Men 01207 Open 4000m Men 01208 Open 4000m Men	PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG
7	01209 Open 4000m Men 01210 Open 4000m Men 01211 Open 4000m Men	PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG
8	01212 Open 4000m Men 01213 Open 4000m Men 01214 Open 4000m Men	PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG
9	01215 Open 4000m Men 01216 Open 4000m Men 01217 Open 4000m Men	PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG
10	01218 Open 4000m Men 01219 Open 4000m Men 01220 Open 4000m Men	PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG
11	01221 Open 4000m Men 01222 Open 4000m Men 01223 Open 4000m Men	PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG
12	01224 Open 4000m Men 01225 Open 4000m Men 01226 Open 4000m Men	PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG
13	01227 Open 4000m Men 01228 Open 4000m Men 01229 Open 4000m Men	PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG
14	01230 Open 4000m Men 01231 Open 4000m Men 01232 Open 4000m Men	PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG
15	01233 Open 4000m Men 01234 Open 4000m Men 01235 Open 4000m Men	PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG
16	01236 Open 4000m Men 01237 Open 4000m Men 01238 Open 4000m Men	PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG
17	01239 Open 4000m Men 01240 Open 4000m Men 01241 Open 4000m Men	PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG PHILIPPOU JIP FTI SRI HONG

写真 31 スタートリスト
(2000mリレー・68名分 2回目変更版)

Open 2000m Pair Men レースの様様。
この韓国チーム男子2名は、前日の
ARICH Open Men Single 2000mで、同着
(Dead Heat)。タイムはアジア新記録(6'
11" 0)となった。(写真 32)

異なるカテゴリーの混ざった全 17 クルー・68 名分のリス
ト。右上に「R 2」と書かれているのは、「2 回目変更 (Revised
2nd)」の意味。

PRICH は、メンバー変更や種目変更などが多く、選手計量
中にもかかわらず、変更されることもあった。

昨日と比べ ID チェックもはかどるようになり、出漕者の
確認もスムーズになった。どの審判からも、「昨日これがあれ
ばなあ…」という言葉があった。ただし、この日も計量器の
到着が約 30 分遅れた。(ただ、選手の到着も遅れた。)

第 1 レースは約 30 分遅れて始まった。



写真 32 Open 2000m Pair Men のレースの様様

第 8 レース (ARICH Open Mixed 4×500m リレー) で、8 レーン IND の第 1 漕者 (女性) が、1650m で
第 2 漕者 (男性) にバトンタッチしたため、チェンジオーバーゾーン未到達交代で、イエローカードを
与えた。(後続の選手は問題なし)

レースはおおむね 30 分遅れで進捗し、最終の第 10 レース ARICH 4×500m リレーで全種目が終了し
た。この最終レースの開始前、何度も選手を呼び出したが、SRI チームが来ず、PAK チームの到着が大幅
に遅れた。KSA のコーチから「SRI, PAK は除外 (EXC) だ」と抗議あり。結果として、来なかった SRI は
DNS の扱いに。PAK チームの全クルーに “late at the start” としてイエローカードが与えられた。

このため PAK のクルーはリレーのチェンジオーバーポイント違反 1 回でレッドカード・除外となるた
め、ITO, NTO 全員で注意してレースを見た。

(本日は地元 PRA の NTO が 5 名配置されたため、他のリレーレースでも問題なく確認できた。)

違反するクルーは無かったものの、20 レーンの PAK の第 1 漕者から第 2 漕者のポイントは、チェンジ
オーバーポイントの 1550m ちょうどであった。

(6) 表彰式での出来事



写真 33 表彰式の模様



写真 34 表彰式での Jirawat 氏

最終レース終了後、Venue からエルゴを撤去し、そのまま表彰式が始まった。(写真 33)

- ・ Team Manager Meeting で説明をしたにもかかわらず、エントリー数 1 のクルー (PR1) にメダルを渡してしまった。(OC が PoJ に相談なく実施) 後で選手に返却を頼んでいた。
- ・ Open 2000m Men Single で、同一レース内で同着が 2 件あり、金(KOR)・金(KOR)・銅(IRQ)・銅(THA)となった。
- ・他にも同着があり、Open Men 2000m pair で金・銅・銅、U23 Lightweight Men 500m で金・金・銅だった。
- ・ ARICH と PRICH の双方、軽量級と Open、シングル、ペア、リレー、さらにマスターズカテゴリーまでにエントリーする猛者もあり、メダルをいくつも受けている選手が多数いた。

昨日延期された ARICH 1 日目の表彰も行われ、全カテゴリーの表彰が行われた。PoJ の Jirawat 氏もメダルプレゼンターとして登壇された。(写真 34) これで一連の業務が終了した。

5. 雑感

① 各国のインドアローイングに対する取り組みについて

インドアローイングに対するアジア諸国の取り組みの差を感じた。

帰国後、各国ローイング協会のインスタグラムを見ると、大会に対する温度差が垣間見え、特に中東勢は「アジアNo.1」や「メダルを獲った」ということをとても重視している感じがあり、力の入れ方が違うと感じた。

また、「なぜ今回は、日本 (の選手) はエントリーしてないの？」と多数の方から尋ねられた。

② 審判業務について

- ・ある審判の言であるが、「日本の審判員の Umpiring のレベルは高くして申し分ない。問題は英語のコミュニケーションのみ。そこさえ改善されれば、物凄くレベルの高い審判員が多い。」とのこと。今回、Umpiring の用語については、共通なのでそこは問題にならなかった。英語のコミュニケーションについてはカタコト英語であったが、単語の羅列と身振り手振りで通じた。自分の言葉で話すことが大切だと感じた。
- ・円滑な大会運営には、OC と Jury のコミュニケーションが重要だと感じた。
- ・審判は与えられた役割以外の質問については、答えてはいけない。はっきり「知らない」と答えて、

「OCに聞け」と言って断っていたのは参考になった。

- ・1日目のPRICHに参加したマレーシアの選手（軽量級男子）のユニフォームの袖にシンガポールの旗があると、IND チームから抗議があった。不服審査委員会として、Jirawat 氏、John 氏、吉野が指名されており、不服審査をするのでテクニカルテーブルに来るようにと言われた。

特に強い抗議ではなかったため、事なきを得たが、国際大会ならではの注意を要する点であった。（暗闇のなかで選手計量をしたため、見落としてしまった。）

- ・PRICH に参加する選手が計量時間とにかく来ない。「出漕するレースの2時間前から1時間前に計量がある」とエントリー時の要項にも書かれていたが、知らない選手が大半であった。また英語が堪能ではない選手も多数いたため、図（写真35）を描いて説明した。

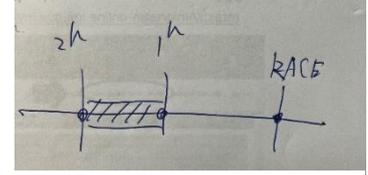


写真35 計量時間の説明

- ・また、これは後から知ったことだが、PRICH の応募要項に「複数エントリーの場合は、その日の最初レースの計量を受ければ、後は種目が違っても計量を受けなくてよい」ということが書かれていたが、当日の審判には告知されていなかった。

そのため、何回も計量に来る選手がおり、そのつどのIDチェックと計量のため大変煩雑となってしまった。

- ・数回、選手から「日差しが当たって暑い。レーン（エルゴ）を移っていいか？」と聞かれたが、「変更は不可」で統一して回答した。

③ 大会期間中、各国の役員・選手と話した内容について

(1) Penang Rowing Association の President, Sim Ghee Beng 氏 の話

- ・マレーシアのインドアローイング自体の歴史も古くない。（帰国後調べたところ、PRICH はマレーシア最大のインドアローイングの大会で、今回が3回目。回を追うごとに参加者が増えているとのこと。）
- ・ペナンは島なので2000mの静水コースが取れない。インドアとコースタルに力を入れたい。静水のRowingの選手レベルは、ユニバーシアードに出られるか否かのレベル。ただ、インドアとコースタルは新しいスポーツとして可能性が高いと思っているので、選手を増やしたい。
- ・マレーシアのスポーツクラブやフィットネスクラブ、ジムにはほぼ全てにConcept2のエルゴがたくさん置いてある。
- ・このような商業施設で大会を行うのは、「New スポーツ」としていろんな人に知ってもらうため。
- ・ペナンは島で、波も穏やかで、ジョージタウン（世界遺産の観光地）に新たな埋立地（人工海浜）が整備されたので、そこでコースタルをやりたいと思っているから、日本でも宣伝してほしい。
- ・Sim氏は学校の校長（または教育長？）をされているらしく、PRICHにマレーシア内のいろんな学校（大学、高校、中学、小学、幼稚園）に声をかけて参加を募ったそう。アジアのトップ選手が集まる機会はないので、子供達にARICHをぜひ見せたいと思ったとのこと。



写真36 4歳の選手と父親

- ・年齢のカテゴリーとして、4歳から60歳代超えまでの幅広い設定をしている。

<事例> 4歳児（2分間レース）の選手と父親（写真36）

ちいさな子供たちが、メダルをさげて喜んでいる姿はとても微笑ましかった。親の盛り上がりも物凄かった。

(2) 参加選手から聞いた話

ITO として認識されたためか、日本人が一人だったからか、選手が話しかけてくれることが多くありました。「参加したきっかけ」を聞いてみました。

- ・今回、ペナンで ARICH が開催されると聞き応募した。静水の Rowing の経験は全くない。いつもフィットネスクラブでエルゴを使っている。国際大会に出られるのは大きなモチベーションになる。(マレーシアのマスターズ選手)
- ・マスターズでも、国の代表のユニフォームを着て参加している。代表のユニフォームは簡単には着られない。各国も代表を送り込んできている。アジアNo.1 の称号は欲しい。(マレーシアの選手)
- ・いつもはフィットネスクラブでエルゴを使っている。静水での Rowing の経験はない。マスターズカテゴリーのインドア国際大会は自国では開催されないので、今回、サイトを検索していたら、マレーシアで ARICH と PRICH が開催されると知り、両方のマスターズクラスにエントリーした。静水の Rowing は国の代表になるので、選考を経て派遣されないと出られないが、インドアローイングは国内選考なしで誰でも出場できるとあったので、ちょうど夏休みと重なり、家族旅行を兼ねてペナンに来た。日本でインドアの国際大会があるなら参加したい。(香港のマスターズ選手)
- ・地元ペナンの女子高校生に「日本の方ですね」と日本語で声をかけられたので、何で参加したの?と聞いたところ、学校対抗で参加したそう。シングルとペア、リレーに学校の友人とエントリーしていた。(東京・町田出身で中学まで日本に在住していたとのこと。)

【参考①】参加選手の募集などに関して

(1) 大会のエントリーについて

- ・ARICH については、各国協会を通じて、代表選手を派遣する形。ARF と OC にエントリーをした各国選手が参加。各カテゴリー 2 クルー以内。

参加料は 1 人あたり 10 米ドル (約 1,500 円)、渡航費・宿泊費は各自負担 (宿泊費はシングル 1 泊 99 米ドル)。空港～宿舎間の輸送はマレーシア側 (PRA) が実施。

- ・PRICH については、チケット販売サイト「ticket2u.com.my」(日本の「チケットぴあ」のようなサイト)を通じて申し込み。応募要項やカテゴリーもそのサイトに掲出されていた。海外からも参加可能。

参加料は、こども (4 歳から) ~ジュニア (U19 まで) が、早割で RM15 (約 525 円。マレーシアリングット・RM1=約 35 円) と格安。通常申し込みは RM20。

U19 以上のシングルが RM30、ペアが RM60、パラ選手は無料。

18 歳以下のリレーは RM60 (一人あたり RM15)

U19 以上のリレーは RM108 (一人あたり RM27)

カテゴリーごとの参加人数制限はなし。種目はシングル、ペア、リレーの 3 種。カテゴリーはオープン、軽量級、マスターズ、U23、U19、U17 など多数。距離が 500m と 2000m の 2 種。パラ選手も同様。

こどもレースは年齢により 2 分間または 3 分間で漕いだ距離の長さを競う形。

総数として 120 カテゴリーとなっていた。競技全体としてのエントリー数の上限もなし。

- ・棄権の場合の返金はなし。参加登録後の変更 (他人への出場権の譲渡) は不可。参加時に ID (日本

のマイナンバーカードのようなもの) か、パスポートをチェックする。チームでまとめたのエントリーも可能。参加費に大会中の保険料を含む。



写真 37 今大会のメダル



写真 38 PRICH のトロフィー

(2) 参加者特典

【ARICH】

各レースごと・各カテゴリーごとの1位から3位に、ARICHの金・銀・銅メダルを授与する。(写真 37)

ただし、1杯レースはメダルなし。2杯レースは優勝者に金のみ。3杯レースは金・銀のみ。4杯レース以上は金・銀・銅。(WRのルール通り)

【PRICH】

詳細はわからなかったが、団体賞のようなものがある模様で、最も勝ったチームにはトロフィー(写真 38)を授与するが、大学生以上のチームのトロフィーは有料。高校生以下のチームのトロフィーは無料。

各レースごと・カテゴリー別に、それぞれの1着から3着までにPRICHのメダルを与える。

該当カテゴリーの参加が1杯だけでもメダルを授与していた。

【共通】

参加者全員に PDF ファイルで参加証と順位表を送る。(ブロックチェーンで改竄できない形式)

参加者全員に大会オリジナルのTシャツをプレゼントする。(ARICH と PRICH はデザインが異なる)

【参考②】大会運営の形態について

2024 Asian Indoor Rowing Championships と 2024 Penang Rowing International Indoor Championships の併催について

ARICH は主催主管・ARF、運営・Malaysian Rowing Association 後援：ペナン州体育協会

PRICH は主催・PRA

オフィシャル・ホテル：Jazz Hotel Penang (選手・関係者宿舎)

オフィシャル・ベニュースポンサー：STRAITS QUAY Penang (商業施設・大会会場)

オフィシャル・イクイップメントスポンサー：Concept2 Malaysia (エルゴ)

オフィシャル・イクイップメントスポンサー：Aviron Racing (その他用具)

オフィシャル・ビタミンドリンクスポンサー：YouC1000

オフィシャル・ドリンクウォータースポンサー：HOH Water

オフィシャル・マネートランスファーパートナー：Money Match (海外送金金融サービス業者)

オフィシャル・ブロックチェーンパートナー：Masverse (Web3・ブロックチェーンの IT 企業)

オフィシャル・フィットネスジムパートナー：Jabfit Penang (選手が多数出場)

オフィシャル・フィットネスジムパートナー：Fitness District (選手が多数出場)

と、静水のローイングでは馴染みのない業種のスポンサー・パートナーだと感じました。
オフィシャルフィットネスジム同士の対抗レースのようなものもあり、大変盛り上がっておりました。

6. むすびに

今回、初の国際大会ならびに海外大会の審判参加となりました。また、インドアローイングの国際大会に参加できる機会は少ないと思いますので、このような貴重な機会を与えてくださった日本ローイング協会国際委員会ならびに審判委員会の皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。

また、ARF、Malaysian Rowing Association、Penang Rowing Associationの皆様、各国選手の皆様、そして何よりも暖かく迎えていただき、支えてくださったPoJをはじめとする審判団の皆様にも改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

この大会の日本からの参加者は私1人(ITO)でしたが、大会の横断幕やバナー、ア krediyteeshyonカードに日本の国旗を入れてくださっていました。(写真39) 「日本代表」として扱っていただき、身の引き締まる思いであったとともに、今後もより一層研鑽を積まないといけないと思った次第です。長文となりましたが、このレポートが少しでも参考となれば幸いです。



写真39 大会のバナー（ホテル・会場に掲出されていた）



写真40 今回の審判団とTD

今回の審判団とTD(写真40)

写真左から

Nadzri氏(MAS)

吉野(JPN)

TD・Shiram氏(IND)

PoJ・Jirawat氏(THA)

Anjera氏(THA)

John氏(HKG)

Harith氏(MAS)

以上

※本大会の様子は、Penang Rowingの公式YouTubeで見ることができます。